



## 2021年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月9日

上場会社名 グリーンランドリゾート株式会社  
 コード番号 9656 URL <https://www.greenland.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江里口俊文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理室長 (氏名) 佐伯賢二

TEL 0968-66-2111

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	3,728	25.1	279		149		123	
2020年12月期第3四半期	2,981	54.0	562		483		482	

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 106百万円 ( %) 2020年12月期第3四半期 507百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	11.93	
2020年12月期第3四半期	46.69	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第3四半期	20,832	10,427	50.1	1,008.74
2020年12月期	21,195	10,554	49.8	1,021.00

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 10,427百万円 2020年12月期 10,554百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		0.00		0.00	0.00
2021年12月期		2.00			
2021年12月期(予想)				2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	12.6	200		30		50		4.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年11月9日)公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期3Q	10,346,683 株	2020年12月期	10,346,683 株
期末自己株式数	2021年12月期3Q	9,260 株	2020年12月期	9,260 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期3Q	10,337,423 株	2020年12月期3Q	10,337,423 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想ご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(四半期連結損益計算書関係) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の度重なる感染拡大が続く中、3密を回避出来るレジャーとしてゴルフ事業は好調に推移いたしましたものの、政府及び各自治体による緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が断続的に実施されたことに加え、8月の繁忙期における九州北部での長雨や豪雨の影響により、特に遊園地事業やホテル事業における利用者数は伸び悩みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,728,961千円（前年同期比25.1%増）となり、営業損失は279,323千円（前年同期は営業損失562,627千円）、経常損失は149,501千円（前年同期は経常損失483,884千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は123,323千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失482,610千円）となりました。

項 目	当第3四半期 連結累計期間 (千円)	前第3四半期 連結累計期間 (千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)
売上高	3,728,961	2,981,387	747,574	+25.1
営業損失(△)	△279,323	△562,627	283,303	-
経常損失(△)	△149,501	△483,884	334,382	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△123,323	△482,610	359,287	-

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ・遊園地セグメント

九州の遊園地は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う各種団体利用客の予約の延期やキャンセルが相次ぎ、また、収容人数の制限や営業時間の短縮要請等により、イベントの延期や規模縮小を余儀なくされ、8月の繁忙期における九州北部での長雨や豪雨の影響もあり、利用者数はゴールデンウィーク期間を含む春の行楽シーズンに臨時休園を行った前年を上回ったものの、厳しい状況が続きました。

また、北海道の遊園地は、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が断続的に実施されたことに伴い、特に札幌都市圏からの客足に影響を及ぼし、イベントの中止や延期等も相まって、利用者数はオープン時期が6月上旬となった前年を上回ったものの伸び悩みました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比555,077千円増収（+38.0%）の2,016,017千円となりました。

## ・ゴルフセグメント

3ゴルフ場は、コロナ禍においてもゴルフが屋外で密を避けられるスポーツとして若者層からシニア層まで幅広い支持を集めており、徹底した感染予防対策を実施するとともに、お客様に満足していただけるようなコースの環境整備・改良ならびに設備の拡充に取り組んだことにより、大型コンペの実施見送りがあったものの、利用者数は大きく増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比183,235千円増収（+32.5%）の747,376千円となりました。

## ・ホテルセグメント

九州のホテルは、宿泊部門においては、九州の遊園地と同様に新型コロナウイルスの感染拡大に伴う各種団体利用客の予約の延期やキャンセルが多発し、また、8月の繁忙期における九州北部での長雨や豪雨の影響も大きく、利用者数は伸び悩みました。また、料飲部門や宴会部門においては、コロナ禍による飲食店への営業時間短縮要請等が客足に与えた影響は大きく、大人数の宴会・婚礼の延期や規模縮小等も相まり、利用者数は減少しました。

北海道のホテルは、ホテルサンプラザの宿泊部門においては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う大人数団体等での利用の手控えもあり、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が、特に札幌都市圏からの客足に大きく影響し、利用数は伸び悩みました。また、料飲部門や宴会部門においては、飲食店への営業時間短縮要請による影響が大きく、利用者数が減少しました。

また、北村温泉ホテルにおきましては、3月に大規模リニューアルオープンして以来、地元客を中心に日帰り入浴ならびにレストラン利用者数は堅調に推移いたしました。また、宿泊部門は伸び悩み、宴会部門においては減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比16,379千円増収（+2.8%）の598,478千円となりました。

・不動産セグメント

不動産セグメントは、一部テナントの賃料改定を行ったことに伴い賃貸収入が増加し、売上高は前年同期比5,941千円増収(+4.9%)の127,803千円となりました。

・土木・建設資材セグメント

土木・建設資材セグメントは、客土用土の他、建設資材のコールサンドやボゾテックの販売の落ち込み、燃料投入業務における投入量の減少により、売上高は前年同期比13,058千円減収(△5.2%)の239,286千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、20,832,202千円(前連結会計年度末比363,464千円減少)となりました。

流動資産は、762,550千円(前連結会計年度末比225,881千円減少)となりました。これは主に、受取手形及び売掛金・その他に含まれる未収法人税等・未収消費税等が減少したことによるものであります。

固定資産は、20,069,651千円(前連結会計年度末比137,583千円減少)となりました。これは主に、建物及び構築物が減少したことによるものであります。

流動負債は、5,163,548千円(前連結会計年度末比749,664千円増加)となりました。これは主に、短期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債は、5,240,812千円(前連結会計年度末比986,431千円減少)となりました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、10,427,840千円(前連結会計年度末比126,697千円減少)となりました。これは主に、利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向などを踏まえ、2021年8月10日に公表いたしました2021年12月期通期連結業績予想を修正いたしております。

なお、詳細につきましては、本日開示の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	476,314	440,368
受取手形及び売掛金	223,221	163,206
商品	44,405	45,979
原材料及び貯蔵品	45,040	43,531
その他	203,194	72,523
貸倒引当金	△3,744	△3,058
流動資産合計	988,431	762,550
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,381,961	3,252,005
機械装置及び運搬具(純額)	572,410	519,082
土地	14,917,042	14,923,625
その他(純額)	161,149	155,547
有形固定資産合計	19,032,563	18,850,261
無形固定資産		
その他	213,028	209,329
無形固定資産合計	213,028	209,329
投資その他の資産		
投資有価証券	270,437	295,242
繰延税金資産	429,417	454,666
退職給付に係る資産	179,489	182,699
その他	83,399	78,551
貸倒引当金	△1,100	△1,100
投資その他の資産合計	961,643	1,010,060
固定資産合計	20,207,235	20,069,651
資産合計	21,195,666	20,832,202

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	62,879	23,754
営業未払金	92,200	78,591
短期借入金	3,898,696	4,674,324
未払金	246,535	209,154
未払法人税等	900	24,558
賞与引当金	-	42,158
その他	112,672	111,007
流動負債合計	4,413,884	5,163,548
固定負債		
長期借入金	3,569,063	2,645,744
長期預り金	2,516,422	2,453,022
退職給付に係る負債	10,803	12,594
その他	130,954	129,451
固定負債合計	6,227,244	5,240,812
負債合計	10,641,128	10,404,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,180,101	4,180,101
資本剰余金	4,767,834	4,767,834
利益剰余金	1,577,938	1,433,940
自己株式	△3,036	△3,036
株主資本合計	10,522,837	10,378,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,700	49,001
その他の包括利益累計額合計	31,700	49,001
純資産合計	10,554,538	10,427,840
負債純資産合計	21,195,666	20,832,202

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	2,981,387	3,728,961
売上原価	3,141,400	3,593,508
売上総利益又は売上総損失(△)	△160,013	135,453
販売費及び一般管理費	402,613	414,777
営業損失(△)	△562,627	△279,323
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	6,754	7,318
受取賃貸料	3,471	3,696
受取保険金	21,918	11,880
助成金収入	70,026	136,515
雑収入	10,882	6,154
営業外収益合計	113,054	165,568
営業外費用		
支払利息	32,054	32,617
雑損失	2,257	3,127
営業外費用合計	34,311	35,745
経常損失(△)	△483,884	△149,501
特別利益		
固定資産売却益	3,206	2,018
投資有価証券売却益	176	-
受取保険金	-	11,859
助成金収入	28,294	-
特別利益合計	31,677	13,878
特別損失		
固定資産除売却損	30,091	-
臨時休業による損失	※ 134,981	-
災害による損失	25,566	8,495
投資有価証券売却損	5	-
特別損失合計	190,643	8,495
税金等調整前四半期純損失(△)	△642,850	△144,118
法人税、住民税及び事業税	8,570	11,959
法人税等調整額	△168,810	△32,754
法人税等合計	△160,239	△20,794
四半期純損失(△)	△482,610	△123,323
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△482,610	△123,323

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純損失(△)	△482,610	△123,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,959	17,300
その他の包括利益合計	△24,959	17,300
四半期包括利益	△507,570	△106,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△507,570	△106,022
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が2021年9月30日を以て全都道府県で解除され、新型コロナウイルス感染症の影響に関しては今後も一定程度残るものの、新型コロナウイルスワクチン接種の進展や行動制限緩和等に伴い、徐々に和らいでいき、利用者数が回復していくと想定しており、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定及び会計上の見積りについて重要な変更はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※臨時休業による損失

前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日至 2020年9月30日)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、政府及び各自治体から出された外出自粛要請等を受け、九州の遊園地をはじめとする当社グループの一部事業所で、ゴールデンウィークを含む期間におきまして臨時休業や営業時間の短縮を実施いたしました。このため、臨時休業期間中の遊園地事業及びホテル事業において発生した固定費(人件費・減価償却費など)及び遊園地事業において発生したイベント中止に係る費用を臨時休業による損失として特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	遊園地	ゴルフ	ホテル	不動産	土木・建設 資材	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,460,939	564,141	582,099	121,861	252,344	2,981,387	-	2,981,387
セグメント間の内部売上高又は 振替高	2,020	8,184	15,029	8,406	29,787	63,427	△63,427	-
計	1,462,960	572,325	597,129	130,267	282,131	3,044,814	△63,427	2,981,387
セグメント利益又は損失(△)	△42,758	△86,692	△349,777	81,726	81,463	△316,038	△246,589	△562,627

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△223,273千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	遊園地	ゴルフ	ホテル	不動産	土木・建設 資材	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,016,017	747,376	598,478	127,803	239,286	3,728,961	-	3,728,961
セグメント間の内部売上高又は 振替高	3,267	8,277	17,110	8,746	3,520	40,922	△40,922	-
計	2,019,284	755,653	615,589	136,549	242,806	3,769,884	△40,922	3,728,961
セグメント利益又は損失(△)	111,102	64,265	△343,010	85,258	41,889	△40,494	△238,829	△279,323

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△239,374千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。